



ここから始まる

“あす”への出発

国体の真の目的は 国体が終わったあとにこそある

黒潮国体は終わりました。県民のところに明るい灯をともして全国身体障害者スポーツ大会も幕を閉じました。

開・閉会式の興奮。県内すみずみにまでくりひろげたスポーツの良さ、明るさ、美しさ。すべてのものが青春を力の限りうたいました。勝ったもの、敗けたもの、声援するもの、手を取り合って泣くもの。

それを盛り立てた黒潮とみかんと人情の交歓。県民ひとりひとりが花を植えました。咲かせました。和歌山県民の“こころ”を実践しました。

「みんな、ほんとうによくやった！」

いま私たち県民は「成功」という勝利をかちとりました。すばらしい「和歌山の力」を立証しました。

そうです。この見事な成果をあげたのは「和歌山県民の力」以外のなものでもありません。

だが、国体をやった。全国身体障害者スポーツ大会をやった。これのほんとうの成功はこれからにあるのです。

あかあかと燃えるあの日の炬火の炎を、いつまでもみんなの胸の中に生かすにつけ、私たちのふるさとの幸福と繁栄の道を切りひらいていかなければなりません。

私たちの“あす”のために、さあ新しい出発です。

大橋知事が力強く開会を宣言



歓迎のことはを妙中県議会議長



県民のみなさん ありがとうございました

黒潮国体の成果を 県民の心の記念碑として いっまでも

本県の選手団は天皇杯を勝ち取りました。だれもが生涯忘れることのできない感激の一瞬。この日のために、すべての選手が自分の持っている力と技と闘志を最大限にぶつけました。「よくやった」と惜しみない賞讃が集まっています。

だが同時に、この賞讃は黒潮国体をささえ、天皇杯のかけで活躍した全県民の一人一人にもむけられる言葉でもあります。

いろいろな人が「紀州人の心意気で必ず成功させてみせる」と一人一役を果たしてくださいました。

天皇杯それは総合優勝を示す勝杯であるとともに、「和歌山県民の成功」の文字を刻み込んだ記念碑とも言えるでしょう。

花いっぱい国体

自治会や婦人会などのみなさんによって、心をこめて植えられたサルビアやマリゴールドの花は、国体の開幕とともにいっせいに全県下で咲き競いました。

この黒潮国体記念の花は、来年も再来年も美しく咲き続けることでしょう。

民泊ならではの国体の味

他府県参加者がまず第一に感嘆したのは、紀三井寺運動公園をはじめ各地の競技場、駅頭や道路ぞいに配置された鉢（はち）植えみかんでした。

全部で六千七百鉢。みかん王国ならではの風景でした。

有田市宮原果樹研究会、果樹育苗組合、有田4日クラブ、吉

国体の成功、不成功は民泊にかかっているとまでいわれました。民泊で和歌山の生活を味わった他府県参加選手は、全体の三分の一にのぼる約七千人にも



▲「がんばって」地区総出で朝の送り出し

備高校などが三年がかりで、たのしみこめて育てたものです。実にみごとなカゲの演出でした。

自衛隊の活躍

成功の陰の功労者として自衛隊の活躍を落とすことはできません。隊員約一千三百人、車両二百六十台、通信機二百五十機、舟艇十七隻を派遣、夏季大会のヨット、漕艇会場をはじめ、秋季大会の開閉式場、陸上競技場、馬術、ロードレース、ラィフル競技会場などで、無線通信、資材輸送、交通整理に活躍していただきました。

彩り添えた文化の香り

郷土の文化を広く紹介し、芸術をおして明るく、豊かな、たくましい県民性を育てようという黒潮国体芸術展が、美術館を中心として紀伊風土記の丘、博物館など五会場で開催されました。各会場には、競技のあい間のひとときを憩う国体選手の姿もよくみられました。

また、県いけばな協会と県華道連盟では、各競技会場や駅などをいけばなで飾り、人々の心をなごませました。

和歌山市の各競技会場では、表裏千家のみなさんが「野点」を点じ、来訪者に「紀州のさび」を味わせて人気を集めました。

みかん国体の呼び名も

他府県参加者がまず第一に感嘆したのは、紀三井寺運動公園をはじめ各地の競技場、駅頭や道路ぞいに配置された鉢（はち）植えみかんでした。

全部で六千七百鉢。みかん王国ならではの風景でした。有田市宮原果樹研究会、果樹育苗組合、有田4日クラブ、吉



▲鈴なりに実のついたみかんの鉢植えは黒潮国体を強烈にイメージアップ

そのほかにも

友情と和歌山理解のかけ橋を点じて、来訪者に「紀州のさび」を味わせて人気を集めました。



▲競技場前芝生のお茶席も国際色豊かに

友情と和歌山理解のかけ橋を点じて、来訪者に「紀州のさび」を味わせて人気を集めました。

友情と和歌山理解のかけ橋を点じて、来訪者に「紀州のさび」を味わせて人気を集めました。

友情と和歌山理解のかけ橋を点じて、来訪者に「紀州のさび」を味わせて人気を集めました。

友情と和歌山理解のかけ橋を点じて、来訪者に「紀州のさび」を味わせて人気を集めました。

炬火リレーは行く 町と町を結び、心を一つに

高野山と熊野三山でおそかに採火された炬火は、十月十一日、白浜町を第一走者の広畑正勝さんにさげられて出発。

その後、開会式までの十四日間、県内五十市町村を中・高校生、青年団員や元氣いっぴいのママさん、老人など八千二百五十一人の手でリレーされました。沿道いたるところで大きな歓声で迎えられ、黒潮国体の成功へとつなぎました。

ブラジル選手団も特別参加

黒潮国体にはブラジル選手団（十人）が特別参加。開閉会式には各府県選手団の先頭を入场行進し、大拍手で迎えられました。

選手団長の竹中さんは、白浜町の出身で、団員は全員日系二世、三世のみなさんです。



▲老いも若きもみんなが一つになって炬火リレー

黒潮国体には、日本各地から一万数千人の選手が集まりました。県内各市町村の人情、風土は、他府県からおとずれた選手の目にどのよう映じたでしょうか。それぞれの会場地に照会して、各府県から来たたよりのなかからピックアップしてみました。

和歌山市 (開会式ほか)

開会式の心憎いまでのりっぴな演出、盛り上がった会場のふん困気など国体関係者の方々の努力と苦心の結晶がもたらしたものと敬意を表します。

奈良県選手団

先日タクシーに乗ったときは土地を案内していただいたり、絵ハガキや国体の旗までいただいたり、国体の一つのような思い出として生涯忘れられないでしょう。富山県女子選手五名

橋本市 (高校野球・軟式)

先日、国体開催中は子どもがいろいろとお世話になりました。みなさまのあたたかい歓迎ぶりに大へん感激しまして、家に帰ってきてからも、その話でもち切りです。

東京都高校軟式野球選手の母親

海南市 (ソフトボール・ライフル射撃)

試合には負けましたが、民泊家庭で受けたご厚情は、生徒にとつて一生忘れられることのできないものです。あのミカン取りの楽しかったこと、ご家庭で歌って教えてくださったお国自慢の民謡、民泊ならではの人情味あふれるもてなしをうけました。生徒の間では、新婚旅行は紀州路だと、はや夢はせているものもいます。いつのことやら、その節もどうかよろしく。

宮城県立河南高校ソフトボール部監督

有田市 (ホッケー・ボクシング)

試合には負けましたが、みなさまがの心あたたまるもてなしをうけ、勝利にまさるものを得た思いです。

静岡県ボクシング監督

御坊市 (バレーボール)

昨年のインターハイ、ことしの国体と二度おじゃましたのが少しもかわらぬ情こまやかなおもてなし。ああ、これが紀州人の素顔なんだなあと感激しております。秋田県高校男子監督

新宮市 (蹴球)

駅前での婦人会の湯茶のおもてなしは、とつてつたようなものでなく、心からのもてなしで非常にうれしくおもいました。紀州人の心豊かさを垣間見た気がしました。

愛媛県 伊藤庄二さん

高野町 (剣道・山岳)

歓迎の夕べでおこなわれたさといとゴマは、もともと山の安



全をいゆる山ぶしの行事だと聞き、山を歩く私たちにほなよりの催しだとうれしく思いました。北海道旭川東高校山岳部

かつらぎ町 (軟式蹴球)

国体期間中は、なにかとお世話になりありがとうございました。

鹿兒島県視察団

粉河町 (レスリング)

試合には負けましたが、くいのない試合をできたのは、地元みなさんの声援のおかげと感謝しています。来年は試合に勝つて、ご声援いただいたみなさんに勝利の報告をしたいと思っています。

岐阜県高校選手

打田町 (ハンドボール)

和歌山の人々に直接身近に接し、思い出を深め有意義な国体であったと思います。ご声援をいただいた地区のみなさんにもよろしくおたえください。

広島県ハンドボール監督

湯浅町 (バドミントン)

昨年は地元で優勝しましたが、今年には和歌山県に負け残念だったが、みなさまがのあたたかい歓迎をうけ、負けた以上の感激をうけました。岩手県選手団

白浜町 (卓球)

卓球会場の花の美しさと、婦人会の方々の駅頭での出むかえに感激しました。

鹿兒島県視察団

日置川町 (蹴球)

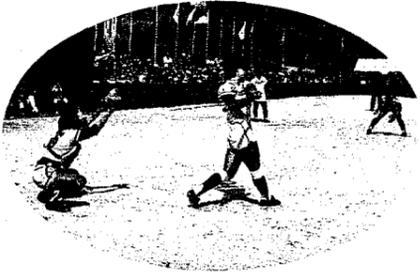
婦人会のみなさんがつとてくださったという「紀州でまり」心ももったおみやげで、選手一同大変喜んでいきます。

岩手県選手団

串本町 (ウエイトリフティング)

サルビア・マリゴールドの花とともに、大谷渡(観葉植物)ストレッチャーといった南国情緒たっぷりの特色ある花で町を飾られていたこと。来年の会場地として、大変参考になりました。

鹿兒島県垂水市視察団



女子勢の健闘でソフトボール総合優勝



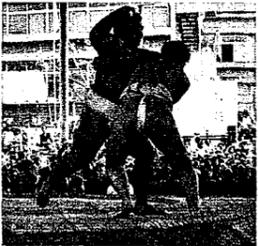
▲優勝した高校チームをつかまえフェンシングの手ほどきを受ける地元小学生

輝く総合優勝の栄冠

県選手勢、燃えあがる ファイトでかちとる



▲天皇杯を胸に祝勝パレード



▲和歌山強し 教員勢大活躍



▲みごとな演技をみせる地元選手



▲スタンドの声援を背に(高校に続き)教員チーム優勝なる



▲箕島高校ホッケー部地元
の期待にこたえ快勝

初優勝に喜ぶ一般準硬式野球
の丸善石油チーム

県勢は、夏季、秋季大会をあわせ水泳、体操、柔道、相撲、馬術、ソフトボール、軟式野球、軟式庭球、ハンドボール、フェンシングの十競技に総合優勝。そして、国体三十一競技のうち二十六の競技に入賞を果たし、天皇杯得点百八十八点、国体史上第三位の成績をあげました。

なかでも、教員勢は、水泳、柔道、相撲など五競技に優勝し、教員十三競技のすべてに入賞、天皇杯獲得の得点源となりました。一方、高校勢も心強い健闘

ぶりを示し、体操、柔道、フェンシングなど四競技に優勝したほか、馬術、レスリング、バドミントンをはじめ全競技にわたって、予想以上の大活躍をみせました。また、苦戦を予想された女子勢も、陸上、体操、ソフトボール、フェンシングなど各競技に活躍し、皇后杯得点五十七・二六点を獲得。大阪府に続いて、女子総合第二位に躍進するすばらしい奮闘ぶりをみせました。

スポーツ弱小県からの脱出

過去の国体では、下位を低迷しスポーツ弱小県といわれた和歌山。その本県が、地元開催によるフルエントリーという地の利があつたとはいえ、天皇杯を獲得するまでには多くの困難がありました。体育施設や優秀な指導者の不足、多くの未普及競技などを一つ一つ克服し、この

この自信と成果を明日へ

国体の開催によって県民のスポーツへの関心も高まっています。また、施設や優秀な指導者も数多く生まれました。しかし和歌山県のスポーツ水準の向上と底辺の拡大は、これらの国体の成果をどのように明日に引きついでいくにかかっています。

県下各地にまかれたスポーツという種は、国体によって芽ばえました。この芽を大きく育てていくには、私たちみんなの絶えることのないスポーツに対する理解と情熱が大切だといえます。



▲400mリレーに優勝した
教員・高校チーム



▲苦しい練習の成果いま実る
馬術高校障害に雑貨選手優勝



苦しい訓練に耐え抜いた選手一人一人の努力が、今日の栄光をもたらしたのです。

この自信と成果を明日へ

種別・種目		チーム名・氏名順位		得点	
陸上	男子総合第四位	和歌山	谷口 信三	7	5
陸上	女子総合第二位	和歌山	福井 利夫	7	5
馬術	総合第一位	和歌山	谷口 信三	10	10
馬術	総合第二位	和歌山	福井 利夫	7	7
馬術	総合第三位	和歌山	福井 利夫	6	6
馬術	総合第四位	和歌山	福井 利夫	5	5
馬術	総合第五位	和歌山	福井 利夫	4	4
馬術	総合第六位	和歌山	福井 利夫	3	3
馬術	総合第七位	和歌山	福井 利夫	2	2
馬術	総合第八位	和歌山	福井 利夫	1	1
馬術	総合第九位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第十位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第十一位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第十二位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第十三位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第十四位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第十五位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第十六位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第十七位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第十八位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第十九位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第二十位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第二十一位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第二十二位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第二十三位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第二十四位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第二十五位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第二十六位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第二十七位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第二十八位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第二十九位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第三十位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第三十一位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第三十二位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第三十三位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第三十四位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第三十五位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第三十六位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第三十七位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第三十八位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第三十九位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第四十位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第四十一位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第四十二位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第四十三位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第四十四位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第四十五位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第四十六位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第四十七位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第四十八位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第四十九位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第五十位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第五十一位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第五十二位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第五十三位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第五十四位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第五十五位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第五十六位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第五十七位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第五十八位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第五十九位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第六十位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第六十一位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第六十二位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第六十三位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第六十四位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第六十五位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第六十六位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第六十七位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第六十八位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第六十九位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第七十位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第七十一位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第七十二位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第七十三位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第七十四位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第七十五位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第七十六位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第七十七位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第七十八位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第七十九位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第八十位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第八十一位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第八十二位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第八十三位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第八十四位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第八十五位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第八十六位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第八十七位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第八十八位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第八十九位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第九十位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第九十一位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第九十二位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第九十三位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第九十四位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第九十五位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第九十六位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第九十七位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第九十八位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第九十九位	和歌山	福井 利夫	0	0
馬術	総合第一百位	和歌山	福井 利夫	0	0

天皇杯得点百八十八点

国体史上第二位の快記録

秋季大会・県選手団成績(入賞)一覽

▲天皇杯得点
▲皇后杯得点
○大会新記録

天皇・皇后両陛下

県内各地で暖かいご激励

天皇、皇后両陛下には、十月二十三日から四日間、黒潮国体秋季大会の開会式にご臨席をはじめ、各種競技のご観覧とあわせて、本県の産業、経済、文化など県勢の現状をご視察されるためにご来県されました。

両陛下は、九年ふりにご覧になる和歌山県勢のすばらしい伸展ぶりに目をみはられるとともに、本県の美しい自然と史跡をおほめになり、「今後とも良き歴史と伝統の上には、県民がいっそう力を合わせて県勢の発展に力をつくすよう」とお言葉をたまわりました。

また、常陸宮殿下ご夫妻、高松宮殿下ご夫妻、秩父宮妃殿下と、各宮さま方もごぞつてご来県。各競技会場で、選手たちのはつらつとしたプレーに暖かいご声援をおくっておられました。



▲ヨーロッパ旅行のお疲れもみせず、開会式にご臨席された天皇・皇后両陛下。



▲天皇杯授与の大役をお引き受け、閉会式にご出席された常陸宮殿下ご夫妻。
▼サッカー競技を熱心にご観戦の高松宮殿下（紀南総合運動場）



と感激!

心、心の花、紀州の花



▲紀州みかんのオートメ選果装置にご感心。田辺市の紀南農協選果場をご視察。



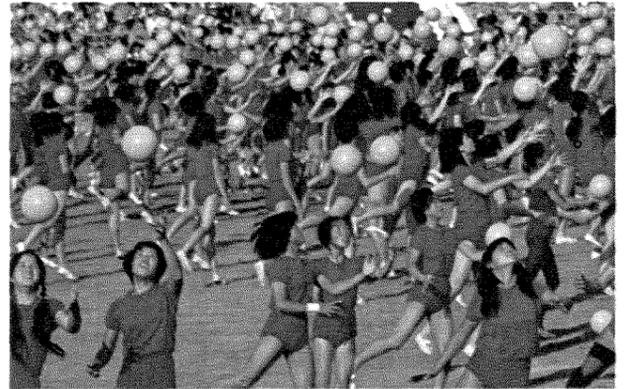
▲古代紀州の文化遺産を保存する「紀伊風土記の丘」には、ことのほか興味をおよせになられました。



▲お国自慢の車本節、カイ音頭、紀州おどりを披露する紀州婦人1800人。



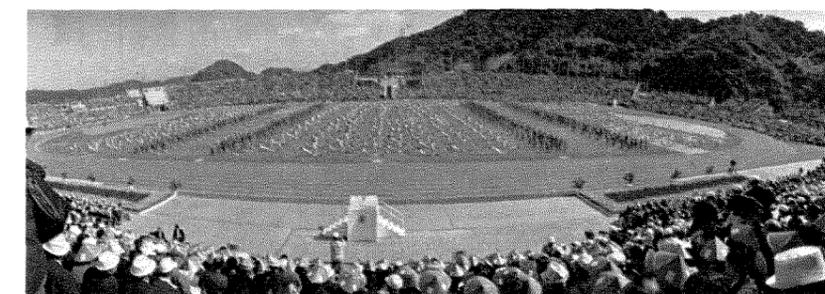
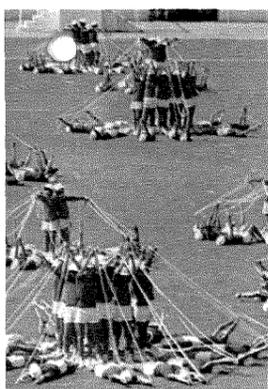
▲みかんのふるさと わかやまは明るい、住みよいくに、みかんのふるさと。郷土色を軽快な鼓笛のリズムで紹介する小学生。



▲くろしおの流れ 希望の雄飛、未来に向かって生きる喜びをモダンダンスで表現する中学生。

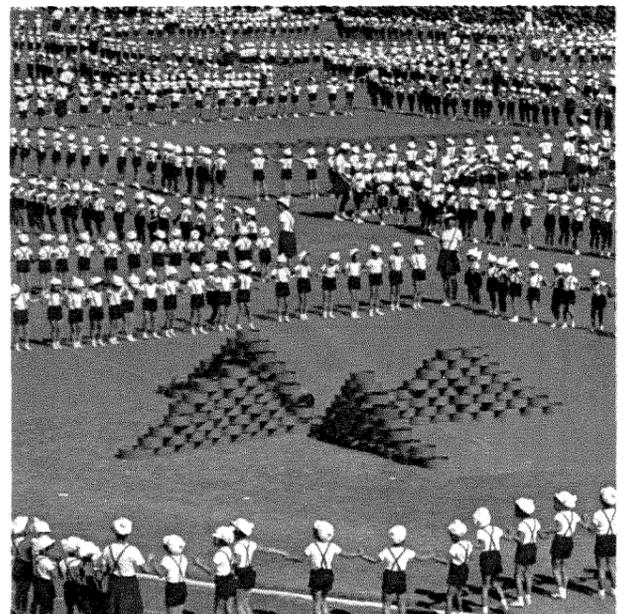
▼みんな元気で グランドいっぱいにくりひろげられる、はつらつとした幼児たちの創造の遊び。

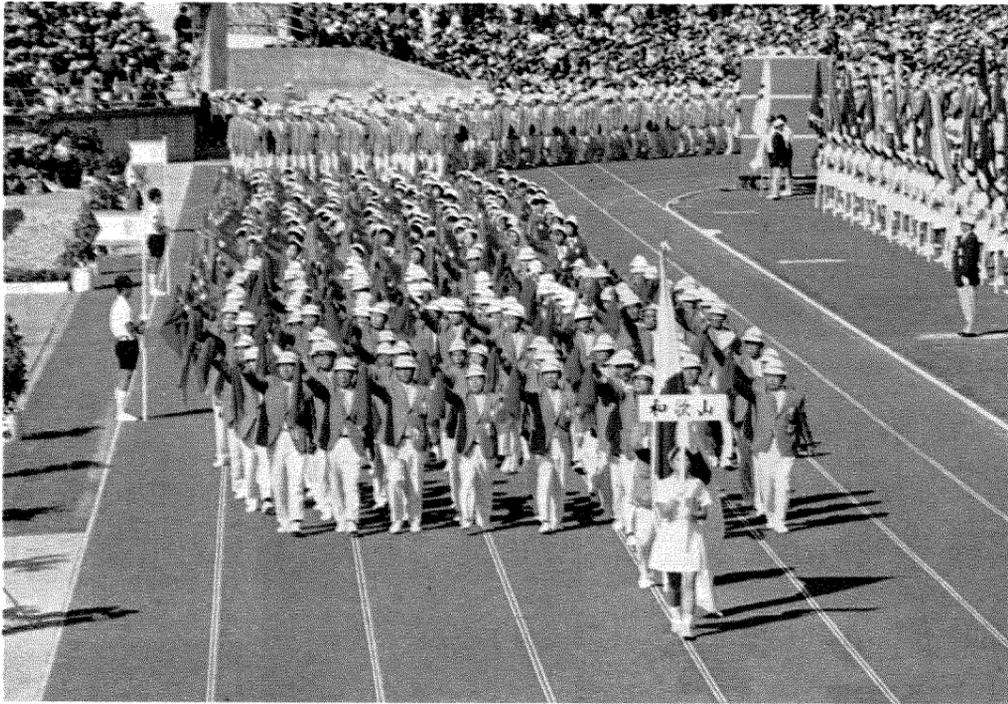
たくましく 豊かに たくましく 力強く “黒潮の躍動美”



▲南海のこども 輝やく南国の太陽、黒潮の息吹きは僕たちを守り育てた。健康的な縄体操をみせる小学生第1部会。

▲われら若人 まげよ、のばせよ、とびはねよ、黒潮健児のはつらつたる徒手体操（高校部会）





●総合優勝に輝く県選手団

この日のために、苦しみ、励み、挑んだ県選手団833人。ご苦労さん、ほんとうにすばらしかった。天皇杯おめでとう。



▲友情の炎燃えて 女性ながら炬火最終ランナーとして見事大役を果たした三嶋恭代選手。



▲かつらぎ町の軟式庭球場をご訪問された秩父宮妃殿下。

▼すさみ町の畜産試験場をご覧の高松宮妃殿下。イノブタ君も大歓迎!



▲力強く、堂々と選手宣誓をする糸田孝孝君の雄姿はあすへ飛躍する和歌山県の姿です。



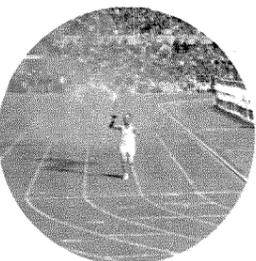
希望にみちてたくましく 第7回全国身体障害者スポーツ大会



皇太子さま、美智子さまは全競技会場で選手や出迎えの人たちに一人一人言葉をおかけになりました。



自信と希望にみち、力強く入場行進する本県選手団57人。



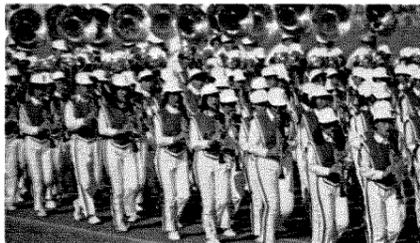
自立の炎！炬火は村田正夫さんの手で…。



「障害を克服して、正々堂々と…」西本文夫さんの力強い選手宣誓。



▲惜しめない拍手 胸はって堂々と競技団体旗を先導した芦原小学校鼓隊。



▲讃歌高らかに 秒刻みの大会運営の陰の主役として活躍した吹奏楽団。



▲乱舞する43頭の獅子(しし)

▼伝統の厳しゅくさをみせる和歌祭渡御行列。



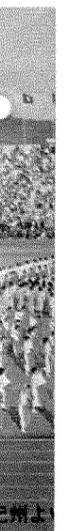
▶遠路ようこそ 1万6千人の選手団のトップをきって、ブラジル選手団(10人)



あすにはばたく
力をひめて



▲創作舞踊 「まりと殿様」を踊る洋裁学校生など430人の乙女たち。



明る

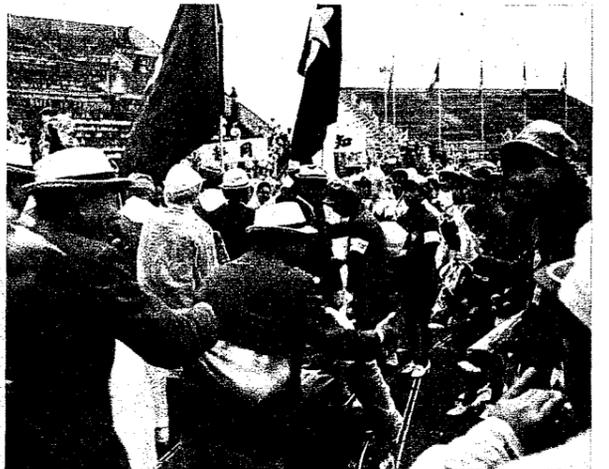


第七回全国身体障害者スポーツ大会

希望にみちて たくましく

11月6日・7日

「さよなら、さよなら」蛍の光のメロディーの流れるなか、ひとと抱き合せて、泣きくずれる手話通訳の女性と選手。
 「僕はやった」「私はがんばった」たとえからだに不自由でも、力いっぱい走り、とび、泳ぎ、栄光のメダルを胸にした。たった二日間という短い経験だったが、私たちに託して、「やればできる」という社会復帰への自信と勇気がわいてきた。
 コンパニオンや婦人会のお母さんたちがさし出す菊の花束と杖つきのミカンを受け取る選手たちみんなの目に涙の玉が光っている。十一月六日・七日、皇太子さまご夫妻をお迎えして開かれた第七回全国身体障害者スポーツ大会。それは、身体の不自由な人たちの「自立の祭典」であるとともに、私たち百四万県民にとって「福祉県」への限りなき前進を誓い合う友情と感激のドラマでありました。



▲「和歌山のみなさん、ありがとう」こみあげる涙の中で感激の閉会式。

「自立」意欲みなぎる

このスポーツ大会の競技種目は、陸上競技、洋弓、卓球、水泳の四種目。全国から参加した約六百人の選手のみなさんは、からだの不自由にもめげず、さわやかで、力強い競技を展開しました。
 車イスを力のかぎりこぎ選手一人は、つちになつてしまったレースを歯を食いしばって完走した選手。松葉づえに身をゆだねピンポン玉を追う選手。光のない世界を鐘の音をめざして疾走する選手。障害をもたない人には想像もつかない程の努力と精神力。各競技会場を激励にまわられた皇太子さまご夫妻もそのうした選手たちの姿に惜しみない拍手をおくっておられました。スタンドに陣どった応援団の拍手を聞き、手が痛くなる程の拍手をおくり、仲間たちの健闘をわがごとく喜び、強く生き抜く自信をえた人たちが多かったです。

握手との出会い



信愛女子短期大学保育科一年生 山本 まゆみさん (手話通訳者)
 手話を通じなければ、口話で、それでもわからなければ掌(て)

に文字を書いて。名前、職業出身地、どんな小さなことでも楽しい会話の種となった。身体障害者の人たちが社会に望んでいるのは「同情心」(今までの私がそうであった)ではなく、理解する心。なのだと。そして、それが、あの閉会式でかわされた「元気ががんばってください」の一言と、みんなが互いに握手を求めあった暖かい心につながっていることに気が付いた時、私は無性にうれしくなっていたのであった。

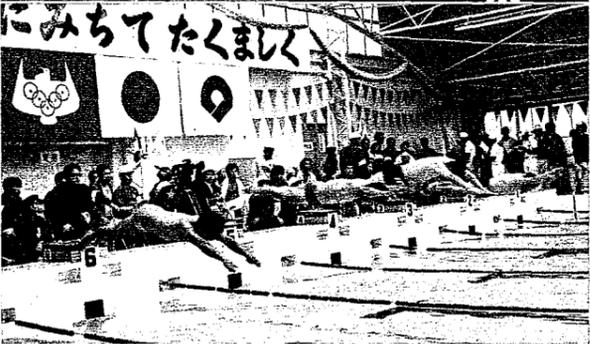


誓い合う 「福祉県」への 限りなき前進

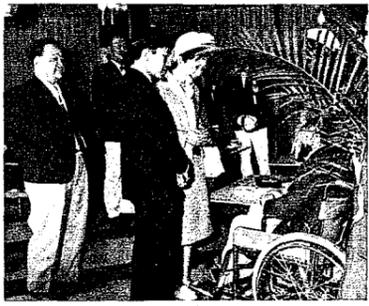


▲開会式で和歌山市身体障害者コーラス団 129人は、県民スポーツの歌など3曲を披露しました。

「私はがんばった」 深める自信、あふれる勇気



やさしくおねがい



皇太子さまご夫妻は、開会式にご臨席されるとともに、県内の社会福祉施設などを視察。更生に励む人たちに優しくおねがいとほげましの言葉をおかけになられました。ご随行した大橋知事は、ご夫妻の暖かいお心に接し「社会福祉行政により一層努力する意欲を深めました」と語っていました。

大会をかえりみて

県身体障害者連盟会長 金成 甚五郎さん

いろいろな困難を排して、全国から約一千人の役員選手団を迎えて、本心に心から喜んでもらえるような大会がもてるかどうか。また、本番の黒潮国体の興奮さめやらぬ県民のみなさんがどれだけの関心をもって迎えてくれるだろうかということ。私たちは心を痛め、ひたすらその成功を祈り続けていた。いよいよフタをあけてみて、

いふ讃辞を聞かされた。また、すべての競技を終わって帰途につく選手団のなかからは、本当に楽しかった、一生に一度の楽しい思い出となるだろうというささやきかわされていくのを聞いた。

▼中高生バトントワラー372人も閉会式に友情出演。



「ようこそ」千羽づるのレイを贈り、歓迎するお母さんたち。善悪の贈り物、労力奉仕の申し出など、数多くの方々の友情がこの大会を暖かくつつみこみました。



▲「夏休みに家でつくったものです」手紙を入れたミカンがこの細工をもって他府県の選手団宿舎を激励にまわる県身体障害者更生指導所の生徒たち。

晴れの受賞

おめでとーうございませう

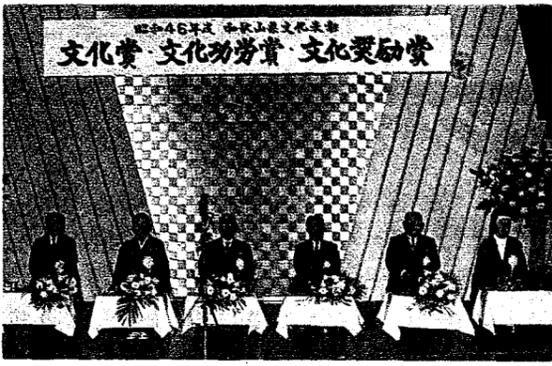


新たに文化奨励賞も加えて

本年度県文化表彰六氏に

県では、本年度の文化賞、文化功労賞、文化奨励賞の受賞者六氏を決め、さる十一月二日、県民文化会館において、その功績をたたえる文化三賞贈呈式を行いました。

(各賞五十首順)



贈呈式に出席された受賞者のみなさん
▶左から佐藤、堀田、岩鶴、久世、小野田、カスバの各氏

文化賞・佐藤、堀田両氏に

学術芸術面で顕著な業績のあった方々に贈られる文化賞は、昭和三十九年度に創設され、すでに二十二人の方々が受賞しています。今回受賞された佐藤良一郎氏は、数理統計学、数学教育に関する論文著作も多く、郷里での講演会活動や文部省評議員会副会長、日本数学会名誉会長など社会的にも活躍。現代統計理論の移入と数学教育の改良についてもきわめて大きな貢献をされており、現在も、わが国の数理統計学の第一人者として活躍されています。

堀田真快氏は、高野山大学講師として、後進の教育と古美術の研究に専念されるとともに、戦後の混乱期に貴重な文化財の散逸防止にたい身されるなど、文化財保護にも大きく貢献されています。また、その豊富な経験と

高潔な人格は、四百三代真言宗管長として、宗門あげて心服されており、全国的な講演会活動、漢籍、書道研究、陶器、茶道にも造詣深く、幅広い文化活動をされています。

文化功労賞・岩鶴、久世両氏に

文化の振興のために功績のあった方々に贈られる文化功労賞は、昨年度から設けられました。

岩鶴龍三氏は、胃ガン早期診断法の「KI-K反応」の発表や、結核治療にも貴重な貢献をされました。戦後、県立医大の基礎づくりと付属病院の整備に尽力され、初代院長となり、同病院の基礎固めに専念され、学長就任後、新制大学への切り替え、大学院の設置などに大きく貢献されました。

久世正富氏は、教へん生活三十八年の間、十校におよぶ校歌の作詞や、串本短歌会、上富田文化の会の創設など積極的に地方文化の振興に貢献されました。現在も、作歌や文化財保護に活躍されており、歌集「黒牛洞」をはじめ、「郷土史に輝やく人々」などの著書もあり、特に、郷土史、郷土文化の研究に携わられています。

初の文化奨励賞 小野田、カスバ両氏に

現在、各分野で実践活動が続けられている方々を対象として贈呈する、文化奨励賞は、昨年度制定され、これが初めての授賞です。初の受賞者となった小野田光氏は、音楽の研究を重ね、音楽グループ活動を推進。昭和四十一年、和歌山混声合唱団を創設、音楽を生活の柱に、心の糧(かて)にのちの考へ方に立ち、ラジオ放送を通じての普及活動や、山村へき地への巡回演奏会など活発な活動を続けられています。

シスター・パプティスタ・カスバさんは、昭和三十年来和後、各家庭をまわる愛の訪問員として社会福祉活動に献身されました。また、昭和三十六年には愛徳整肢園を開園、園長として園児の療育と義務教育の実施に努力をされたほか、各地での看護婦講習会や英会話教室などで広く社会に貢献されています。

お知らせ

野鳥愛護ポスター 野鳥写真を募集します



野鳥を愛し、野鳥が人々の生活に役立っていることを知らせるポスター、写真を募集します。

ポスターの応募は、県内の小学、中学、高校の児童生徒に限ります。また、作品は一人一点とし、写真については、和歌山県民が県内で撮影したものとして一人三点以内とします。応募の締め切りは、昭和四十七年三月三十一日です。ふるってご応募ください。

なお、作品の送付は各県事務所所林務課へ。応募についての詳細も同課または、県林業課にお問い合わせください。

児童手当制度 来年一月実施

十八歳未満の児童を三人以上養育している人に対して、三人目からの義務教育終了前の児童一人につき、月額三千円の手当

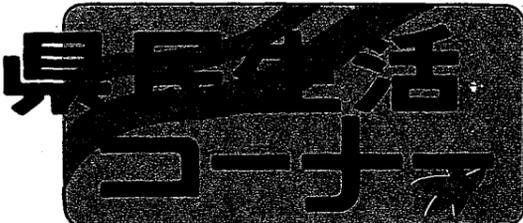
が支給されることになりました。ただし、その人が高額所得がある場合は支給されません。なお、支給対象の児童は、次のように段階的に広げられることになっていきます。

昭和四十七年一月から四十八年三月までは、昭和四十二年一月二日以後に生まれた児童。

昭和四十八年四月から四十九年三月までは、昭和四十二年一月二日以後に生まれた児童。

昭和四十九年四月からは、義務教育終了前の児童。

また、児童手当の支給を受けようとする人は、市町村長の認定が必要です。認定されると毎年三回に分けて市町村役場から支払われます。



お問い合わせ、県政相談は ●和歌山県庁=和歌山市小松原通り1の1 ☎0734(23)6111・もよりの県事務所

申込み方法などの詳しいことは、市町村役場でお聞きください。安定した、明るい生活を

高齢者無料職業紹介所開設

県社会福祉協議会では、県内の高齢者の方々が、その知識と経験を社会のために役立て、明るい安定した生活を築かれるよう、職業紹介所を開きました。

就職を希望される高齢者の方々は、お気軽にご相談ください。また、高齢者に適する仕事の求人も取り扱っています。

和歌山市、海草郡の方は、和歌山市中之島向一五五 県社会福祉協議会(〇七三四)二二四七七七。郡部の方は(各県事務所内)各郡社会福祉協議会で受け付けています。

お買物の量は正確ですか

県では、十二月末までパブリックスケール(公衆はかり)を次の場所に設置しています。お買物の量を、こどもも一度確かめてください。

- 橋本市本町商店街大谷薬局
- 同市上本町商店街野平雨具店
- 同市中央商店街商工会議所
- 同市松原築島店
- 同市末広マーケット
- 同市浜部砂糖店

消費生活

和歌山市・経済センター2階 ☎(0734) 33-1551

“木曜教室” = 繊維シリーズ =

センターでは、毎週木曜日に、くらしに役立つ“木曜教室”を開いています。12月までは“みる・きく・ためす”～繊維シリーズとして、次のテーマで勉強します。ご参加をお待ちします。

12月2日	ためす—洗たく実習
9日	ためす—衣服のリフォーム実習
16日	きく—婦人服
23日	きく—晴着について

▶場所—当センター研修室 ▶時間—午後1時から3時30分頃まで ▶申込—電話かハガキで当センターへどうぞ。

県立高等技能学校 生徒募集

応募資格者 養成訓練課程は、昭和四十七年三月中旬学校またはそれ以上の学校卒業見込者。能力再開発訓練課程は、義務教育修了者で年齢は問いません。

願書受け付け 昭和四十六年十二月一日～四十七年一月十四日

選考日 昭和四十七年一月二十六日

入学願書の配布、提出は、もよりの公共職業安定所で受け付けます。なお、試験場所などの詳しいことは、同所または、県職業訓練課へお問い合わせください。

募集定員 (47年4月訓練開始のもの)

高等技能学校名	訓練科	養成訓練	能力再開発訓練
和歌山	第3自動車整備科	20	20
	第2機械科	20	20
	建築科	20	10
	木工科	20	10
	電子機器科	20	10
	理容科	20	30
	縫製科	20	20
田辺	板金科	20	10
	製材機械整備科	20	10
	自動車整備科	20	10
	建築科	20	10
新宮	塗装科	20	10
	計測科	100	50
	建築科	20	10
新宮	構造物鉄工科	20	10
	計測科	40	20

文化ニュー2

県民文化会館 ☎(0734) 36-1331

“クリスマス慈善音楽会”

12月25日 大ホール

第1部 13時	和太オーケストラ 和歌山混声合唱団 県管楽隊ほか	200円
第2部 18時	矢田暎子 出口美智子ほか	400円

ピアノ チェロ バイオリン演奏

(大ホール)

12月2日	日本の歌 18時30分	500円
3日	労演「土」 18時15分	800円
4日	和太マンドリン演奏会 18時	300円
11日	和太混声合唱団 18時30分	250円
15日	労音「赤い鳥」 18時30分	900円
18日	和太交響楽団演奏会 18時30分	300円
19日	民音 ベレスブロード楽団 19時	1,100円

(小ホール)

12月5日	小林親風会 9時30分	無料
8日	ピアノ独奏会 19時	400円
12日	ピアノ発表会 14時	無料
18日	笑福亭一門会 18時30分	950円
19日	ピアノ発表会 10時30分	無料
22日	クリスマス・コンサート 14時	16時 無料
25日	近畿地区高校演劇コンクール 9時20分	無料

近代美術館 ☎(0734) 36-1331

12月2日～6日	県俳画協会展
2日～6日	県下民間美術サークル連合展
9日～13日	紙人形展
9日～13日	写真展

博物館 ☎(0734) 23-2467

(常設) 和歌山の文化財

一般 50円 学生 30円

紀伊風土記の丘 ☎(0734) 71-6123

資料館 原始・古代の紀伊国展

一般 50円 学生 40～10円

電波で結ぶ茶の間と県政

テレビ「紀州アルバム」 “希望にみちて…”

四国テレビ 12月5日・12日 7:45～8:00

毎日テレビ 12月24日 7:15～7:30

ラジオ「広報アワー」 “県政の動きとお知らせ”

和歌山放送(日曜を除く毎日) 12:30～12:35

映画「県政トピックス」

県内常設映画館にて上映中